

令和2年度「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：32011
学校名：新川西中学校

改訂のポイント

- 保護者の効果的支援を伴う家庭での学習習慣の定着
- 自ら考え、自ら学ぶ、主体的な生徒の育成

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	☆学ぶことの楽しさを感じたり、有用性を理解できる生徒の育成 ☆自分で考え、自己の学びを高めることに取り組める生徒の育成		
「学ぶ力」に関する成果や課題	学ぶ意欲	【昨年度の具体的な取組】 「学習カルテ」と名付けた記録用ファイルの使用3年目で、より活用することを啓発し、家庭学習の定着化を図った	【成果】 ⇒好きな授業があるが93%、勉強しておもしろい・楽しいが65%で肯定回答があった。ただ、普段から計画を立てて勉強しているの肯定回答が35%と少ない。	【課題】 ◇「学習カルテ」の活用に関しては、生徒にアンケートを実施し意見を取り入れながら改善改訂を図る予定である。
	思考力・判断力・表現力等	【昨年度の具体的な取組】 校内研究主題「共に豊かな生き方を見つめ 求める生徒の育成」のもと、教科担任による授業の工夫・改善を実施	【成果】 ⇒授業の工夫・改善を通し、若干でも生徒の思考力や判断力・表現力の向上に寄与していると思われる。（友達や先生の意見をよく聞く 肯定94% 人の意見を聞いて自分の考えを見直す 肯定88% 既習事項を使って自分で考えることが大事 肯定91%）	【課題】 ◇毎年の本校の傾向であるが、授業中自分の意見を進んで発言するの肯定が27%と低く、自分の考えや意見を発信する力の育成が必要である。
	基礎的・基本的な知識及び技能	【昨年度の具体的な取組】 家庭への協力啓発と家庭学習記録などの活用による家庭学習習慣の定着を継続した	【成果】 ⇒同じ間違いを繰り返さないように気を付けているが87%、分からないことは自分で調べてはっきりさせるが76%と肯定回答が多い。	【課題】 ◇同じ間違いを繰り返さないように気を付けているの肯定回答が87%であるのに、新しく習ったことは繰り返し練習をしているの肯定回答が46%と矛盾がある。
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	【取組の共有】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> 主体的に探究していく姿勢を育み、学びを高める指導のあり方 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f0e0;"> 基本、令和元年度の取組を継続する </div> </div>		
	具体的な改善策（取組）	○思考力・判断力を鍛える課題解決的な学習場面を設定した授業づくり ○生徒間の意見交流や教えあい活動により、話し合いのスキル向上や表現力の向上を目指す授業づくり ○小グループでの活動（話し合い、考察、表現力・コミュニケーション能力の向上等）の充実を意識した取組 ○全国学力・学習状況調査や標準学力テストの結果分析を行い、弱点補強のアドバイスを行う ○「学習カルテ」を利用した学習の成果を振り返る機会を与え、自信の獲得や自己肯定感を醸成する ○ティームティーチングや少人数指導等の指導方法工夫改善を積極的に導入（数学・総合的な学習）し、生徒一人一人に対してきめ細やかな指導の機会を充実させる		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	○全国学力・学習状況調査や標準学力テストの分析データの活用 ○生徒を対象にした学校評価アンケートの結果の活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）の活用		